

新財団の名称および合併に関する会員投票に関する Jasig および Sakai からのお知らせ

2011 年の EDUCAUSE カンファレンス終了後まもなく、Sakai および Jasig は、1 年前に提案した合併後の新しい組織のための、コミュニティによる命名プロセスの開始をお知らせしました。憶えやすく、かつ、「共通基盤の価値」という言葉とともにこれまで語られてきた合併後の組織がもつコアバリューを反映した財団名称の提案を募集いたしました。

本日、この命名プロセスの成果のお知らせに際し、強調しておきたい重要な点は、新しい組織になったとしても既存のソフトウェアコミュニティとソフトウェアプロジェクトのブランドに焦点を当て続けることになる点です。つまり、Sakai や uPortal のような名前はなくなるわけではなく、これまで通りです。

2011 年 10 月に Jasig Foundation および Sakai Foundation の理事会により、合併に関する意志決定を行うために選出された創設理事会は、新しい組織の名称として「アペレオ財団」(Apereo Foundation) を採用することを、喜びを持ってお知らせします。この名称は、コミュニティからの提案の組み合わせであり、かつ、「オープン」を意味する "aperto" と「メリット」を意味する "merito" という 2 つのラテン語を融合したものを表します。2 つの組織がこれまで重視してきたオープン性とメリット性の大切さや、より大きなオープンソースムーブメントを考えれば、「アペレオ」というラテン語の合成は、創設理事会の間でも共感を得ることができました。また、これはドメイン名を確保する際にも役立ちました。

今後行われるコミュニケーションでは、我々が提案する新しい組織の名前として Apereo を使うこととなります。しかしながら、これは合併が完了したことを意味するものではありませんし、そうなることを仮定したものでもありません。最も重要なのは、承認のためには、会員全体による投票の過半数が必要である点です。これに向けて、新組織の名称提案のお知らせをきっかけとして、これまで以上のコミュニケーションを開始します。今後 4 週間にわたり、更なる情報の公開を予定しており、その第一弾として、今後のロードマップに関する議論を行うための情報が 3 月 26 日月曜日に公開されます。そこには、メーリングリストやウェブセミナーでの議論や合併に伴う課題をコミュニティとともに議論するた

めに用意される他の機会が含まれます。そして、2012 年 4 月後半に行われる合併に関する会員承認投票でクライマックスを迎えます。

最後になりますが、我々が選択した名前の提案者は、我々が授与しようとした賞を、6 月のカンファレンスへの参加者に寄贈してくれました。これを受け、カンファレンスにおいて何かよい使い道を考えたいと思っています。

なお、名前に関する質問やコメントは Jasig-Sakai 連携 Google Group (<http://groups.google.com/group/jasig-sakai-collaboration>) に投稿して頂くよう、よろしくお願い申し上げます。